

# 滝山だより

よみがえる滝山城

NPO法人 滝山城跡群・自然と歴史を守る会  
会報 第8号 平成25年8月1日発行

平成25年4月～6月度の活動

## 1. 定例活動(滝山城跡の遺構の景観回復と景観維持活動)

日付	時間	実施場所
5/ 5(日)	9:30～15:00	本丸南虎口から弁天池 (4/21の活動が雨天のため順延になりました)
5/19(日)	9:30～15:00	本丸南虎口から弁天池
6/16(日)の定例活動は雨のため7月7日(日)に順延となりましたので、次号に掲載します。		



5/5 藤の花を背景に参加者の集合写真



5/5 弁天池周辺の下草刈り



5/5 本丸から弁天池に下る道の下草刈り

5/5の定例活動には、東京都西部緑地公園事務所の中島さん(左上の集合写真の後列左から2人目)と淵辺さん(後列左から1人目)が参加され、活動内容の確認や意見交換などができました。



5/19 作業前の準備体操は必ず行っています



5/19 本丸から弁天池に下る道の下草刈り



5/19 熱中症などを防ぐためにしっかりと休憩し水分や塩分を摂ります

## 2. 滝山城跡見学会と滝山城跡ボランティア・ガイド

日付	内容	主催または依頼者	参加者
4/14(日)	滝山城跡見学のガイド	東京セキレイ会	37名
5/19(日)	滝山城跡見学のガイド	道の駅八王子滝山・滝山城跡文化協会	19名



4/14 東京セキレイ会



5/19 道の駅八王子滝山・滝山城跡文化協会



5/19 道の駅八王子滝山・滝山城跡文化協会



### 3. 城郭学習会(八王子城外郭)

5月26日(日)、第1回城郭学習会は好天に恵まれ、20名の参加者で八王子城跡外郭を見学しました。管理事務所前から、アシダ曲輪～大手門跡～曳橋と歩き、復元的整備を終えて今年4月14日に一般公開された御主殿跡を見学、その後、通称「殿の道」に残る4段の石垣を見た後に、城山川源流に沿って八王子城の外郭を目指しました。暑さと登り坂に苦労しながら登り着いた尾根には、外側(裏高尾方面)に向けた豎堀跡が残っていて、八王子城の外郭であることが確認できました。



アシダ曲輪で中田正光さんに八王子城外郭についての概要を解説していただきました



外郭尾根の南側に残る豎堀跡は山麓まで続く非常に長いものです



沢沿いに咲く紫陽花



中の曲輪に咲く采配蘭(サイハイラン)

元八王子町や東浅川町などから八王子城の西方を見ると、猫の耳のような形に並んだ2つの山が見えます。右側(北側)が富士見台で、左側は頂上に熊笹が生い茂ることから通称 熊笹山と呼ばれます。

この富士見台と熊笹山を頂点として八王子城の中心部をぐるりと囲む尾根が八王子城の外郭です。

外郭の遺構としては、上記の豎堀の他に、富士見台の南東に内郭に向かって張り出す小尾根に残る堀切跡や「富士見台の堡」と呼ばれる長い豎堀を伴った曲輪群がありますが、狭い尾根道に造られた階段状の平場や尾根の両側にも小さな平場が多数見られます。滝山城では山の神曲輪が有事の際の領民の避難場所となりましたが、八王子城ではこれらの外郭が領民の避難場所であったと考えられます。



←みなみ野付近からは、本丸のある要害部、馬冷しの堀切、詰の城、富士見台や熊笹山などの外郭尾根など八王子城の姿が一望できます

高尾山から見下ろす八王子城 → 富士見台は手前の熊笹山と重なっていますが、要害部と外郭の比高や距離感がわかります 熊笹山から右に下る外郭尾根には麓までの長い豎堀があります 八王子城跡を貫くのは圏央道のトンネルです



『自然地形に近い状態の外郭は、近郷の村人たちが避難するための場所だったからだと思う。』(中田正光「村人の城・戦国大名の城」より)



富士見台から南東の小尾根に見られる堀切跡。東側(写真右:内郭側)より西側(写真左:外郭側)が高いので内郭側から登る敵の進路を断っている





詰の城西の大堀切は内郭（写真右：詰の城）と外郭（写真左）とを分けています



詰の城から北に下る尾根には200m以上も続く崩れた石垣は、内郭と外郭を明確に区分していたことを示しています



詰の城は大天守とも呼ばれ、内郭の最西端として、西から攻め寄せた敵に対して大堀切と石垣による防衛の拠点になっています



馬冷しは馬回り道の切通しでもあり、本丸と詰の城を断ち切る堀切を兼ねています



八王子城本丸  
銅弾や焦げた櫛などの遺物が出土しています

北条氏は豊臣秀吉との戦いに備えて小田原の城下町全体を土塁や空堀で囲みました。外周9kmにおよぶこの「総構」は豊臣秀吉の大坂城や徳川家康の江戸城など、その後の築城に大きな影響を与えました。

八王子城は外周14kmもの大城郭で、小田原本城をしのぐ規模となっています。北に流れる北浅川と南に流れる南浅川、そして両河川の合流点（八王子市役所附近）までを総堀とした「川による総構」と、城の北～西～南側を取り囲む尾根を利用した「尾根による総構」によって八王子城の城域が形成されています。

また、総構の内部にも、主要な街道が隘路となっている自然地形を利用して、浄福寺城の防御線、由井野の要害、八幡宿の城山、廿里の要害、木下沢の要害などを築いていました。

（参考：中田正光「村人の城・戦国大名の城」）



金子曲輪の山腹に残る石垣の遺構 慶安古図には山麓から中腹の柵門台まで石垣が延々と築かれていたと書かれています



八王子城の曲輪配置や総構などを地面に図を描きながら説明する中田正光さん



#### 4. 八王子城跡御主殿跡が一般公開されました

八王子城跡は国（文化庁）の補助金を受けて平成20年度から平成24年度の5ヵ年計画で整備を進めてきました。平成24年度は最終年度として御主殿地区の「復元的整備」工事を行い、平成25年4月14日（日）に一般公開されています。

「復元的整備」とは、以前の発掘調査で検出された礎石、通路、水路、庭園跡などの遺構の上に60cmの盛土をし、その真上に検出された遺構を忠実に再現したものです。配置された礎石や敷石などは八王子城近くの美山町で採石された石を使うなどの配慮がされています。

八王子城跡の復元的整備は、滝山城跡の発掘・復元・再生への前例として参考になりそうです。



城郭学習会で御主殿跡を見学しました



御主殿の礎石復元により建物の大きさが実感できるようになりました



会所の板の間や廊下、礎石に残る柱の痕跡から間取りも復元されています



御主殿と会所の間にある庭園の置石も再現されています



会所の建物の南に幅4.2m、長さ19.2mの通路状の敷石が検出されています



御幅約3.2m、確認された長さ約15mの道路状遺構には石囲い水路があります

#### 5. 会員の三木靖さんが瑞宝中綬章を受章されました

前号で新入会員として紹介しました三木靖さんが、平成25年度春の瑞宝中綬章を受章されました。

叙勲は「文化財保護功労・教育研究功労」に対するもので、主要経歴は「元鹿児島県文化財保護審議会会長・元鹿児島短期大学学長」として内閣府より発表されています。

三木さんは、「鹿児島で46年間、文化財保護、文化財を主にした調査研究、大学行政などに従事したことが評価されたもの。」とおっしゃっています。

三木さんの受章を心よりお祝いいたします。

#### 6. 滝山観光検討会が発足しました

滝山城の発掘・復元に向けた石森八王子市長の意向を受けて、「滝山観光検討会」が発足しました。検討会は八王子市産業振興部観光課を事務局として、八王子市役所生涯学習スポーツ部文化財課、東京都西部公園緑地事務所などの関係所管や滝山城跡群・自然と歴史を守る会、滝山城跡文化協会、加住地区町会自治会連合会、八王子商工会議所、道の駅八王子滝山、東京富士美術館、などの地域関連団体に学識経験者やデザインアドバイザーなどを加えたメンバーで構成され、滝山地域の観光振興の推進、経済活性化、雇用創出など目指しています。商業・経済面での発展を目指すためにも滝山城跡の発掘・復元の実現が必要と考えられますので、今後の動向が期待されます。

NPO法人 滝山城跡群・自然と歴史を守る会

会報 「滝山だより」 第8号

発行日 平成25年8月1日

発行者 NPO法人 滝山城跡群・自然と歴史を守る会

理事長 西山富保（連絡先 携帯 090-4390-7831）

編集 高橋 努

滝山城跡群・自然と歴史を守る会

ホームページ

<http://takiyamajo.com/>